

2025年度
広島女学院中学校入学試験

社会・理科

社会・理科合わせて50分／各50点満点

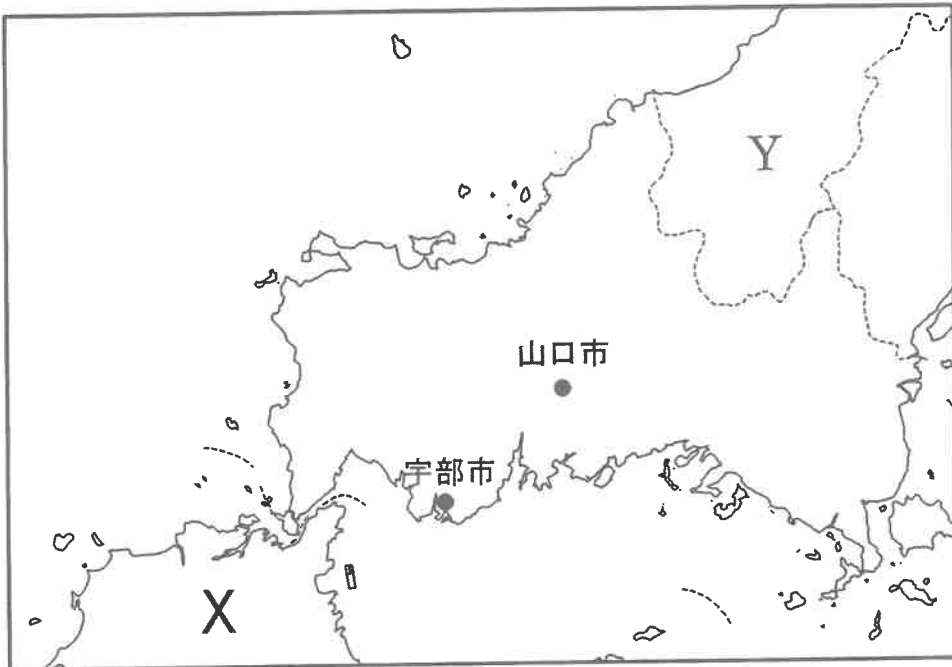
受験上の注意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 解答用紙は、この冊子の間にはさんであります。
3. 問題は社会1ページから13ページまで、理科14ページから28ページまであります。解答用紙は社会白色、理科緑色のそれぞれ1枚ずつです。試験開始の合図があったら、ページ数および解答用紙を確認し、受験番号、名前をそれぞれの解答用紙に記入し、解答を始めなさい。
4. 解答はすべてそれぞれの解答用紙に記入しなさい。

社 会

1. あやめさんは家族で山口県を^{おとず}訪れました。山口県やその周辺の地域について、後の問に答えなさい。

【地図1】



- (1) 【地図1】のX, Yで示された県の名を答えなさい。
- (2) 宇部市では、周辺地域などで採掘される資源をもとにした産業が盛んです。あやめさんは、この資源やこの資源をもとにした産業について調べた結果をカードにまとめました。下の【カード1】～【カード3】をもとに、この資源の名を答えなさい。

【カード1】

この資源をもとに、宇部市ではセメント産業が盛んである。

【カード2】

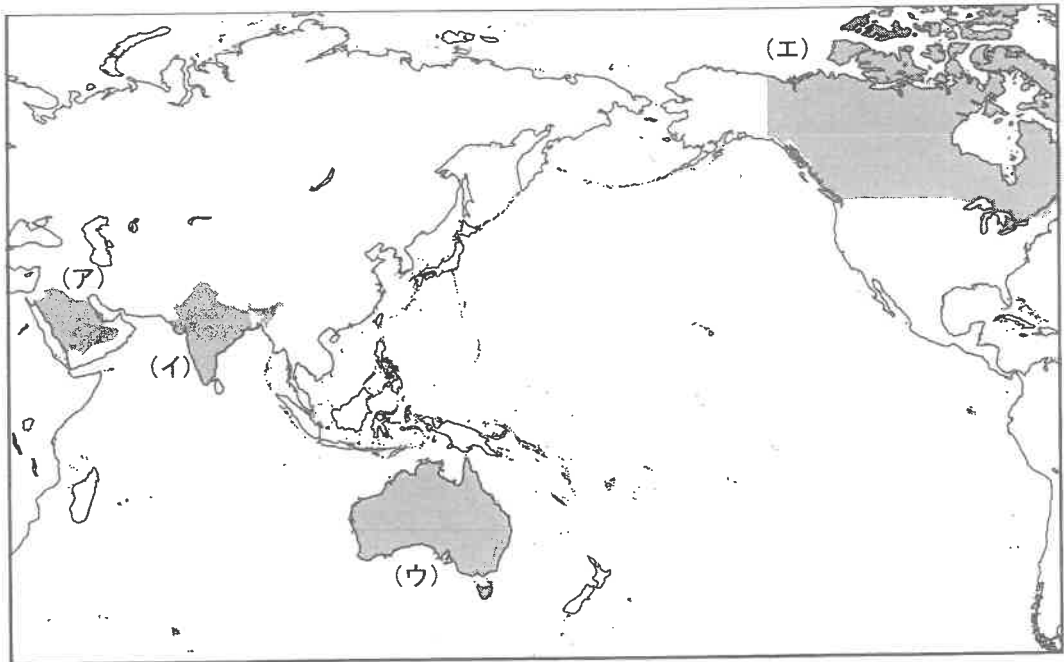
鉄をつくるさいにコークスなどとともに高炉に入れる。

【カード3】

日本の各地で採掘され、自給が可能な資源である。

- (3) かつて宇部市では石炭が採掘されており、宇部市以外にも北海道や九州北部でも盛んに採掘されていました。しかし、日本ではその多くを輸入に頼るようになり、国内での石炭の採掘は衰退しました。石炭の最大輸入相手国(2023年)を【地図2】の(ア)～(エ)の中から1つ選び、記号で答えなさい。

【地図2】



- (4) あやめさんは移動中に車窓から、雑草が生い茂った田畑を見かけました。するとお兄さんが「あれは耕作放棄地だね」と教えてくれました。耕作が放棄される理由として**適当でないもの**を、次の(ア)～(エ)の中から1つ選び、記号で答えなさい。
- (ア) これまで田畑を耕作してきた人たちが高齢になり、耕作がむずかしくなったため。
- (イ) 国内の人口が増加し、住宅を建てる土地が求められ、田畑が住宅建設予定地になってきているため。
- (ウ) 海外から輸入される農産物の価格が安く、価格面で輸入品にかなわず、生産した物が売れにくくなったため。
- (エ) 収入が天候などに左右されるなどの理由から農業を職業として希望する人が減ったため。

- (5) あやめさんは宇部市を訪れたときのことを【日記】に記していました。日記に述べられている橋のうち、あやめさんが渡った橋として正しいものを、【地図3】の(ア)～(エ)の中から1つ選び、記号で答えなさい。

【日記】

電車に乗って、東に向かってっていると橋を渡った。進行方向に対して、右手には大きな工場が建っていた。川の下流の方を見ると、遠くに大きな橋が見えた。兄が「あれはセメントの材料を運ぶための橋なんだよ」と教えてくれた。

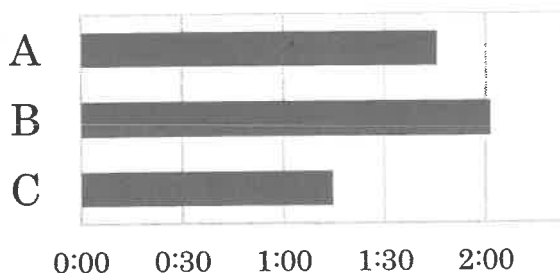
【地図3】



(国土地理院『地理院地図』より作成)

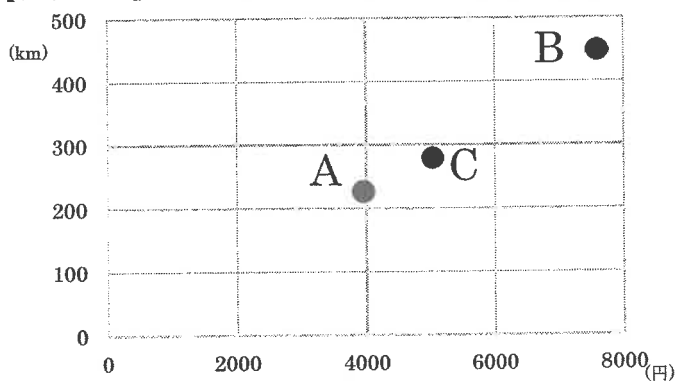
- (6) 下の資料は新山口駅(山口市)から大分駅(大分市), 鹿児島中央駅(鹿児島市), 熊本駅(熊本市)まで鉄道を利用した時の所要時間や距離, 運賃について表したものです。資料中の A~C と駅名の組み合わせとして適当なものを下の (ア) ~ (カ) の中から 1 つ選び, 記号で答えなさい。

【グラフ 1】新山口駅から各駅までの所要時間 (注 1)



(「乗換案内」ホームページなどより作成)

【グラフ 2】新山口駅から各駅までの距離と運賃 (注 2)



(「乗換案内」ホームページなどより作成)

(注 1) : 所要時間は新幹線など最も速い列車を利用したときの時間で, 乗り換え時間はふくまない。

(注 2) : 距離は直線距離ではなく, 鉄道路線の距離。また, 運賃には特急料金などはふくまない。

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)	(カ)
A	大分駅	大分駅	鹿児島中央駅	鹿児島中央駅	熊本駅	熊本駅
B	鹿児島中央駅	熊本駅	大分駅	熊本駅	大分駅	鹿児島中央駅
C	熊本駅	鹿児島中央駅	熊本駅	大分駅	鹿児島中央駅	大分駅

- (7) あやめさんは、家に帰ってから山口県について調べてみると、山口県 1 人あたりの国民医療費(注)が全国でもかなり高いことに気付きました。山口県が高い理由のうち、次の【表 1】、【グラフ 3】を用いて考えられることを述べなさい。

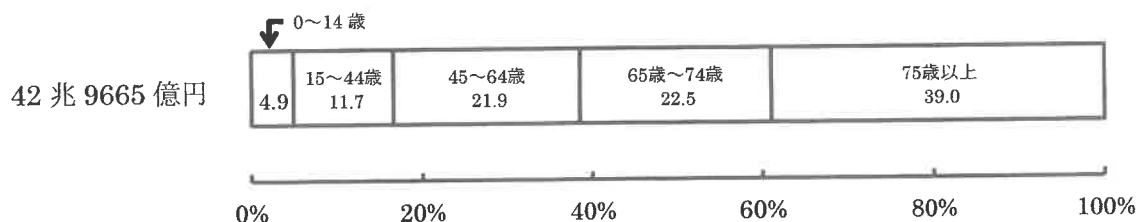
(注)： 国民が 1 年間に医療機関などで病気やけがの治療に使った費用の合計。

【表 1】おもな都道府県の年齢階級別割合および人口 1 人あたりの国民医療費

都道府県	年齢階級別割合 (%) (2022 年)			人口 1 人あたりの国民医療費 (円) (2021 年)	順位
	0～14歳	15～64 歳	65 歳以上		
高 知 県	10.6	53.3	36.1	471300	1
鹿 児 島 県	12.9	53.6	33.5	440400	2
長 崎 県	12.3	53.8	33.9	433500	3
⋮					
山 口 県	11.2	53.6	35.2	422100	6
⋮					
滋 賀 県	13.2	60.0	26.8	321700	45
千 葉 県	11.4	60.6	28.0	320600	46
埼 玉 県	11.5	61.1	27.4	318100	47
全 国	11.6	59.4	29.0	358800	

(「厚生労働省」ホームページおよび「統計で見る日本」ホームページより作成)

【グラフ 3】年齢別の国民医療費 (2020 年度)



(『日本国勢図会 2023』より)

2. 時代によって国のあり方や政治のしくみ、政治と民衆の関係は異なります。さまざまな時代の国や地方の政治のしくみや、そのもとで生活していた民衆の行動について、後の問いに答えなさい。

- (1) 古墳時代には中国や朝鮮半島から日本列島に住みつく人が大勢いました。彼らの中には、建築や土木工事、焼き物などの技術を身につけた人もおり、日本に進んだ技術をもたらしました。

問1 古墳時代の政治や社会のようすについて述べた文①～④のうち、正しいものの組み合わせを、後の(ア)～(エ)の中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ① 大王は天皇とよばれるようになり、天皇が政治を行う朝廷では、高い地位を与えられた有力な豪族たちが摂政・関白に任命された。
- ② 大和地方(奈良県)の有力な豪族たちが、大王を中心に連合して朝廷をつくり、各地の豪族を征服して支配を広げていった。
- ③ 中国の書物や思想とともに漢字が伝えられ、文書によって命令を伝えたり、様々な記録を残したりする政治の技術が発展していった。
- ④ 大陸から新しい国際的思想である仏教が伝えられ、東大寺に大仏を建立し、仏教の力で社会の不安を鎮め、国をおさめようとした。

(ア) ① ・ ③

(イ) ① ・ ④

(ウ) ② ・ ③

(エ) ② ・ ④

問2 下線部のような人々を何といいますか。

- (2) 8世紀には、律令^{りつりょう}と呼ばれる法ができあがり、都の役人の制度が整い、地方にも役所を設けて都から役人をはけんし、政治を行いました。

【資料1】は8世紀の貴族の山上憶良^{やまのうえのおくら}が見聞きした農民のようすをよんだ歌で、【資料2】は山背^{やましろ}(京都府)のある地域の税を集めるための書類です。この書類から税に対して、農民はどのような行動をとっていますか。その背景にふれながら答えなさい。

【資料1】山上憶良が農民のようすをよんだ歌

わたしは、ほかの人と同じように耕作しているのに、ぼろぼろの着物を着て、かたむいた家に住んでいる。地面にじかにわらをしき、わたしのまくらもとには父母が、足もとには妻子たちが、わたしを囲むようにすわりこんで、ただなげき悲しんでいる。かまどには火の気もなく、米をむす器には、くもの巣が張っている。

生活を切りつめて生きているのに、むちをもった里長^{さとおさ}が戸口までやってきて、おどして税をとろうとする。

(山上憶良「貧窮問答歌」より作成)

【資料2】山背のある地域の税を集めるための書類

女	51歳	紀伊(和歌山県)へ逃亡
女	34歳	左目じりにきず
男	34歳	出雲(島根県)へ逃亡
女	25歳	左目下にほくろ
女	21歳	因幡(鳥取県)へ逃亡
男	20歳	因幡へ逃亡
女	8歳	あごにほくろ
女	4歳	
(以下 略)		

(『正倉院文書』より作成)

- (3) 10世紀から11世紀にかけて、藤原氏がむすめを天皇のきさきにして大きな力をもつようになりました。位の低い貴族たちは地方の役人に任命されようとして積極的に藤原氏につかえました。そのようななかで、地方でも社会の変化が見られるようになりました。

これに関連して、【資料3】～【資料5】から読み取れることについて述べたX・Yの正誤の組み合わせとして正しいものを、後の(ア)～(エ)の中から1つ選び、記号で答えなさい。

【資料3】988年に朝廷へ出された訴え

…百姓^{ひやうしやう}たちが願ひ出ます。どうか朝廷でご採決(注1)下さい。この地にはけんされた役人が、この三年間に不法にうばい^{うった}とった税や不法な行為について三十一ヶ条を申し上げます。

- 一、正式に定められた税のほかに、さらに稲を取り上げたこと
- 一、国への買いあげだといって、値切^{きね}って絹^{あきぬの}や麻布^{うろし}・漆^{もめん}・木綿などをだまし取ったこと。

(ほかの条は省略)

(注1)：役人の政治に関する訴えについて判断し、決定すること。

(『平安遺文』より作成)

【資料4】阿波^{あわ}(徳島県)のある地域の戸籍^{こせき}(注2)

	17歳未満	17～65歳未満	65歳以上
男性	1人	2人	2人
女性	0人	17人	9人

(注2)：この戸籍は事実と異なると考えられる。

(今津勝紀『戸籍が語る古代の家族』より作成)

【資料5】律令制における税負担（○は税負担があり，×は税負担がないことを示している）

戸籍区分 (年齢と性別)		税の種類		
		租	調 ちよう	庸 よう
男性	17歳未満	×	×	×
	17～65歳未満	○	○	○
	65歳以上	×	×	×
女性	17歳未満	×	×	×
	17～65歳未満	○	×	×
	65歳以上	×	×	×

X 朝廷が税を重くし，地方にはけんされた役人がきびしく取り立てたため，人々が税を軽くしてほしいと国司に訴えた。

Y 阿波のある地域の戸籍では成人男性の数が少ないが，重い税負担を逃れるために性別をいつわったと考えられる。

(ア) X 正 Y 正

(ウ) X 誤 Y 正

(イ) X 正 Y 誤

(エ) X 誤 Y 誤

- (4) あやめさんは、各時代の武士のようすと民衆のようすを調べ、それぞれ1枚のカードにまとめました。源頼朝が活躍したころのようすを表すカードと織田信長が活躍したころのようすを表すカードの組み合わせとして適当なものを後の(ア)～(エ)の中から1つ選び、記号で答えなさい。

武士のようすA

幕府は家来になった武士に、先祖からうけついだ領地の所有を認めたり、新しい土地を与えたりしました。また、武士を地方の守護や地頭につけて、全国に支配を広げました。

武士のようすB

大名たちは城を築き、周辺に商人を集めて自由に商売をさせ、城下町をつくりあげました。また、独自に法をつくって、領内の武士や民衆を統治しました。

民衆のようすX

ヨーロッパとの貿易で栄えた堺は、商人自ら町を治めました。
また、地方の有力な農民たちや一向宗の信者たちが大名をたおして代わりにその地方を支配することもありました。

民衆のようすY

鉄の農具や肥料を使うようになり、二毛作も行われるようになりました。
また、定期市が開かれ、多くの行商人や買い物をする人でにぎわいました。

	源頼朝	織田信長
(ア)	AとX	BとY
(イ)	AとY	BとX
(ウ)	BとX	AとY
(エ)	BとY	AとX

- (5) 豊臣秀吉の政策をもとに、徳川家光は幕府による大名や民衆の統制を整えました。後の問に答えなさい。

問1 豊臣秀吉は百姓の身分をはっきりさせて武士と区別し、百姓から年貢をおさめさせる仕組みを整えました。豊臣秀吉が百姓を武士と区別するためにおこなった政策を2つ答えなさい。

問2 江戸時代の民衆の統制について述べた文として**適当でないもの**を、次の(ア)～(エ)の中から1つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 城下町では、大名やその家来が住む武家地、寺や神社の地域、町人地など、身分によって住む場所が決められた。
- (イ) 百姓は名主を中心に村を運営し、幕府や藩はこうしたまとまりを利用して、年貢をおさめさせたり、役(力仕事)をさせたりした。
- (ウ) 百姓一揆や打ちこわしに参加したものには、重いばつを課して取りしまったが、幕府や藩の力が弱まると件数は増えていった。
- (エ) いろいろな宗教の信者を統制するため、家ごとに特定の寺や神社、キリスト教の教会に属させて、幕府は宗派ごとに取りしまった。

- (6) 明治以降の日本は軍事力を強化し、欧米にならぶ国づくりをすすめ、同時に国民の政治参加も少しずつ進んでいきました。明治以降の日本について、後の問に答えなさい。

問1 次の【資料6】は国民の政治参加を要求する人たちがつくった憲法案や大日本帝国憲法をまとめたものです。大日本帝国憲法の内容をまとめたものを【資料6】の(ア)～(ウ)の中から1つ選び、記号で答えなさい。

【資料6】憲法案と大日本帝国憲法の比較

	(ア)	(イ)	(ウ)
天皇	天皇は国の元首で、国を治める権限をすべて持ち、この憲法に従って、国を治める。	重要な仕事に関し、天皇がもし国民に対して過ちがあれば、大臣が責任をとる。	天皇は人民の権利や国家の金銭を費やすことをおこなうときには、必ず議会の許可を必要とする。
軍	天皇は軍を率いて指揮する。	議会の許可なしで、天皇が軍を持つことを認めない。	軍の指揮権は天皇が持つ。
立法 国会	議会の協力で天皇が法律をつくる。	法律は国会がつくる。	法律をつくる権利は人民が持つが、実際には選挙で選ばれた議員がつくる。
行政 内閣	大臣は天皇を助け、天皇に対して責任を負う。 天皇が大臣を任命する。	大臣は仕事について国会に責任を持ち、国会の信頼を失ったときには辞任する。	天皇は行政機関の最高責任者で、行政の全ての権限をもっている。

問2 日中戦争が始まると、日本は戦時体制をととのえ、国民の戦争協力をえるため権利を保障したり労働を強制したりしました。このころに政府や議会がおこなったことについて述べた文として**適当でないもの**を、次の（ア）～（エ）の中から1つ選び、記号で答えなさい。

- （ア） 普通選挙法を制定し、国民のうちすべての成人男子が政治に参加できるようにになった。
- （イ） 資源が豊富な満州を「日本の生命線」と考え、多くの国民の移住をすすめた。
- （ウ） 戦争のために、国内のすべての物資や国民全員を総動員する法律を制定した。
- （エ） 政党が解散され、議会の多くの議員が政府の法律案に賛成するようになった。

問3 今日、情報化が進んでインターネットが普及すると、国民の政治参加にさまざまな変化が見られるようになりました。インターネットが選挙に与える影響について述べた文として、**適当でないもの**を、次の（ア）～（エ）の中から1つ選び、記号で答えなさい。

- （ア） インターネットを利用した選挙運動が解禁され、党の政策や立候補者の意見など、選挙の情報を簡単に得られるようになった。
- （イ） インターネットを利用した選挙運動の解禁によって、小さい時からインターネットを利用してきた10～20歳代の年齢別投票率が、他の年代よりも高くなった。
- （ウ） インターネットを通して得られる情報にはうそや誤りが混ざっていることもあり、特定の候補者へのひぼう中傷が拡散される危険性がある。
- （エ） インターネットを利用して選挙の情報を得て、似た考えの人たちばかりで意見を交わしていると、考え方が偏る危険性がある。

名前		受験番号	
----	--	------	--

※のらんには記入しないこと

1

(1)	X	Y
(2)		
(3)		(4)
(5)		(6)
(7)		

※

A

※

B

※

2

(1)	問1	問2
(2)		
(3)		(4)
(5)	問1	
	問2	
(6)	問1	問2
	問3	

C

※

D

※

E

※